

「浄恩寺永代経法要」の流れ

9:45 集合 焼香して下さい。
午前参拝納骨者は、骨箱を本堂へ

10:00 お経「仏説無量寿経」
※法事でおなじみの大経を読みます。

10:50 法話 荒山 優師



昨年のお経講、大好評の優さんにお
願い致しました。お子さんも誕生して、
意気揚々のお話が楽しみです。

12:00 おとき 本堂二階で昼食
午後参拝納骨者は、骨箱を本堂へ

13:30 お経 「仏説阿弥陀経」
「正信偈」
※一緒にお経を読みましょう。

14:10 法話 荒山 優師
15:00 法要終了



要の記録です。昨年の永代経法
要の記録です。昨日通しての参
拝は大変です。午後の部、午
前の部、午後の部、午
どちらか参拝され
る方々も年々増え
てまいりました。

焼香だけでも大
迎です。どうぞ、
楽にお参り下さ
い。お帰りに、鶴
お帰りに、お寄
公園にもお寄り
い。お帰りに、お
ん変りおりました。
待ちしております。



「浄恩寺永代経法要」をお勤めします。
五月三日（木） 憲法記念日



「永代経」という言葉は、よく耳にされる言葉だと思
います。この語源は、「永代読経」といい、「末永
く代々に渡ってお経をお勤めする」と解釈できます。
よく「永代経懇志を納めておけばお寺に参らな
くても、亡くなった人（先祖）の為にずつとお経を勤
めてくれるもの」と、誤解されがちなのですが、こ
れはいわゆる「お経代」ではないのです。
私たちが真宗門徒の永代経懇志には「いつまでも、
私たちの寺をまもり、そこが心のより所として、
み教えが伝わっていくように」との願いが込められ
て、永代経法要なのです。そして、この願いを実現するお勤め



「法要並境内地拡張御懇志」のお願いと
「院号法名志」積立制度のご案内

当山では、この御懇志（永代経、孟蘭盆会、報恩講）
を、お寺の法要執行費と本山（東本願寺）に毎年納め
る納付金「相続講」とさせて頂いていただいております。

また、境内地拡張の積立金にもあてさせていただきます。
当寺院の駐車場は、五台程度の敷地しかござい
ません。そのため、近隣の空き地を購入する計画を立
てております。なにとぞご理解、ご協力を賜りますよ
う心よりお願い申し上げます。

御懇志（永代経、孟蘭盆会、報恩講）の一部金額を
希望者に「院号法名志」の積立金とさせて頂きます。

懇志の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけま
すようよろしくお願い申し上げます。



住職総代一同